

保護手袋着用



商品を取り出すとき、施工するとき
は、切断面に触れると手を切る恐れ
がありますので注意してください。

ハウスプラス確認検査(株) 評価取得済み
HP評価 (木) -22-004

■使用上のご注意

勾配用オメガメタルブレースの使用にあたっては、必ず本マニュアルに基づいて施工してください。

金物及び接合具は指定の用途以外には使用しないでください。

けが防止のため手袋等をはめて作業してください。

腐朽、腐食、湿った木材への取付けは避けてください。

金物取り付けの際、安全を考慮した姿勢と足場を必ず確保してください。

ブレースを端部金物に取り付ける際には、安全のため2人以上での作業を推奨します。

ビスを施工する際には以下の点にご注意ください。

・バッテリー式インパクトドライバーをご使用ください。コード式、エアー式は使用しないでください。

・ビス頭が金物に接するまでねじ込んだ後、増し締めをしないでください。

・金物面に対して垂直に施工してください。斜め打ちはしないでください。

・一度ねじ込んだビスを抜いて、再使用はしないでください。

・堅木、木材のフシ部分への施工の際は、下穴をあけてからねじ込んでください。

それぞれのナットは金物が変形するまでまたはネジ部が壊れるまで締め付けしないでください。

ターンバックル胴は締め付け過ぎないようにしてください。(推奨トルク 10N・m)

横架材接合金物(登り梁金物等)は別途取り付けてください。

使用箇所・用途

・在来木造建築物の屋根構面及び床水平構面の倍率を確保できる
鋼製ブレースです。

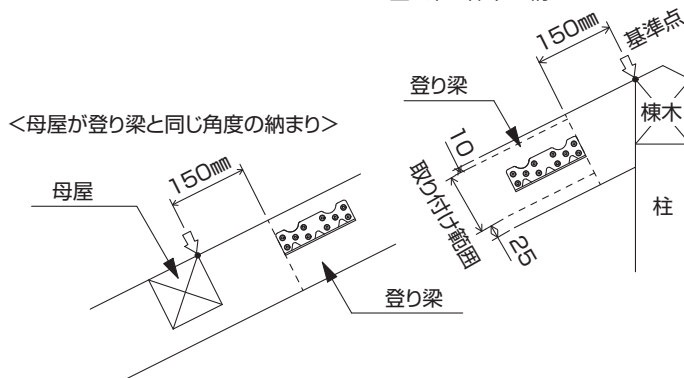
施工方法

1. 勾配屋根構面の四隅それぞれの接合部の基準点から150mm
離れた位置に端部金物を合わせ、専用角ビットビスTB-101
を横架材(登り梁)に10本取り付けください。対角側の
取り付け高さも同じにしてください。
(構面が単体の場合は、ブレース交差部の干渉防止のため、
対になる端部金物の高さを15mm前後ずらしてください。
また、構面が連続する場合には、隣の構面の端部金物のビス
との干渉を防止するため、対になる端部金物の高さを
30mm前後ずらしてください。)
2. 端部金物のボルト孔心・心の寸法(対角寸法)をそれぞれ計
測します。
3. ブレースセットを組んで1本の鋼製ブレースにして長さを合
わせます。(もう片方も同様)
(ブレースを組み付ける際にはターンバックルの丸印がある
方を左ネジ側にしてください。)
4. ブレース交差部の金属音低減のための緩衝材をどちらかのブ
レースの中央にセットします。
5. 端部金物のボルト孔にブレースのボルト孔を合わせ、ワッ
シャーを介して、六角ボルトをナットで手で締めた後、工具で
締め付けます。(4箇所)
6. それぞれのターンバックルを手で締め付けた後、工具で締め
付けます。(推奨トルク 10N・m)
7. それぞれのターンバックル胴の両側のナットを工具で
締め付けて完了です。

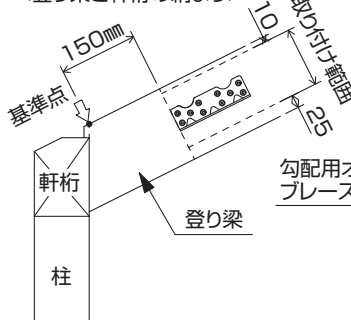
セット内容

- 端部金物セット
 - ・勾配用オメガメタルブレース端部金物 4個
 - ・角ビットビス TB-101 40本
 - ・専用ワッシャー 8枚
 - ・専用高力六角ボルトM16 4本
 - ・皿バネ座金付ナットM16用 4個
- ブレースセット
ブレースセット内容は、ブレースセット箱内に同梱の施工
マニュアルをご参照ください。

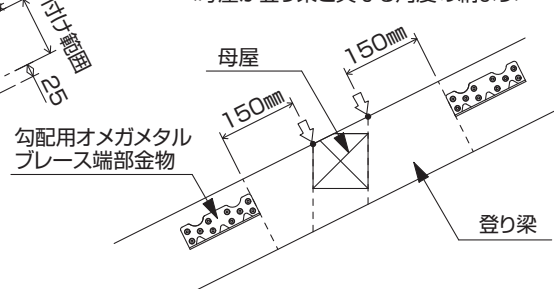
＜登り梁と棟木の納まり＞



＜登り梁と軒桁の納まり＞

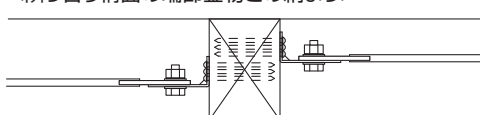


＜母屋が登り梁と異なる角度の納まり＞



■取り付け位置説明図(登り梁)

＜隣り合う構面の端部金物との納まり＞



※ビスが干渉しないよう端部金物の取り付け高さを変える

接合金物の使用方法や納まりなど木造建築金物の施工に関するお問い合わせはこちらまで



株式会社 タナカ

(連絡先) CSセンター フリーダイヤル 0120-558-313

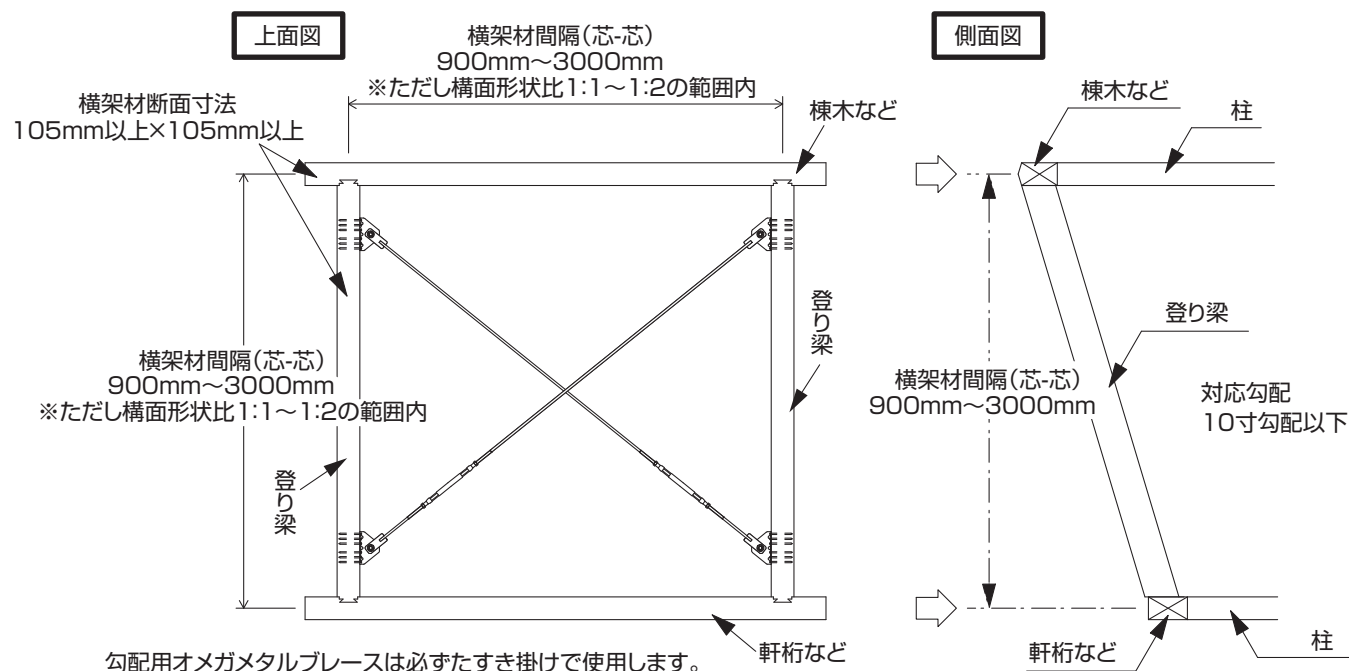
(受付時間) 平日 9:00-17:00

<https://www.tanakanet.co.jp/housing>

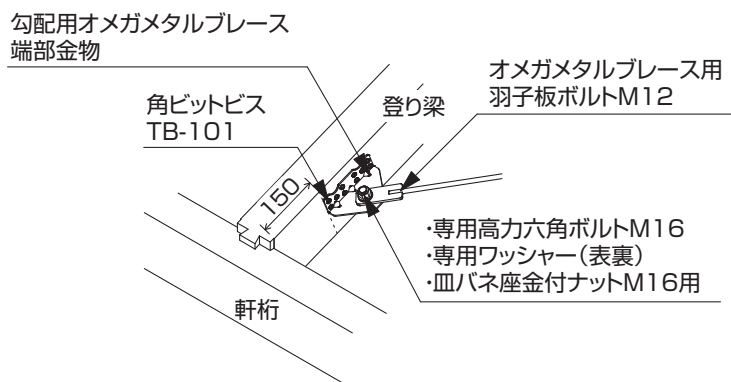
■ブレースの組み合わせ

鋼製ブレースの組み合わせについては、ブレースセットに同梱されている「オメガメタルブレース（水平用）」の施工マニュアルをご確認ください。

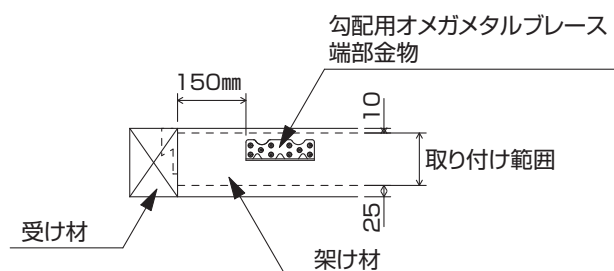
■勾配用オメガメタルブレース適用範囲



■端部金物取り付け図（登り梁）

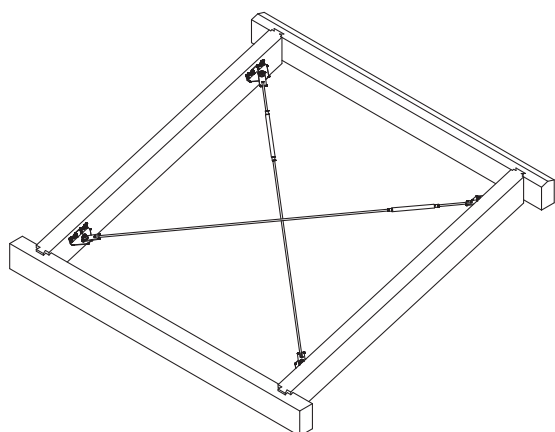


■端部金物取り付け図（床）



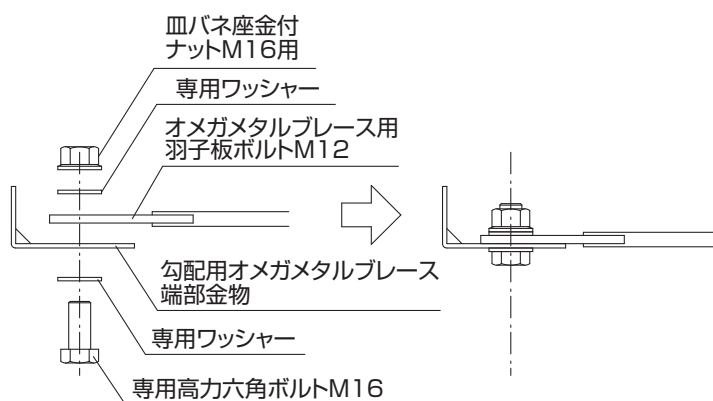
床での使用の場合は、架け材側(上图)だけでなく受け材側にも端部金物を取り付けできます。
(端部金物の取り付け位置は、架け材-架け材または受け材-受け材としてください。)

■屋根構面への取り付け図



屋根構面への端部金物の取り付け位置は、登り梁-登り梁としてください。

■端部金物とブレースの取り付け図



ブレースを端部金物に取り付ける際には、安全のため2人以上での作業を推奨します。